

令和8年度

沖縄県喀痰吸引等研修 不特定多数の者対象

(第1号及び第2号研修)

募集要項

沖縄県喀痰吸引等研修 不特定多数の者対象（第1号及び第2号研修）の募集要項は、本島・宮古・八重山共通となっています。

目次

I	研修概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1～3
	1. 開講目的	
	2. 実施主体	
	3. 受講対象者	
	4. 受講資格	
	5. 募集定員	
	6. 研修スケジュール	
	7. 受講料	
	8. 受講者の選考	
II	研修プログラム・・・・・・・・	4～7
	1. 研修の実施方法	
	2. テキスト	
	3. 基本演習	
	4. 実地研修	
III	筆記試験・・・・・・・・	7
IV	受講申込方法・・・・・・・・	7
V	その他注意事項・・・・・・・・	8
VI	お申込みから研修修了までの流れ・・・・・・・・	9

研修に関するお問い合わせ：
一般社団法人K u k u r u(くくる)
研修担当：金城 鈴木
受付時間：9：00～17：00(土日祝除く)
TEL：098-888-5996 FAX：098-888-5997

I 研修概要

1. 開講目的

「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」施行に伴い、たん吸引等の特定行為を要する者に対して、医師、看護職員との連携の下に必要なケアをより安全に提供するため、たんの吸引等を適切に行うことができる介護職員等を養成することを目的に研修を実施する。

2. 実施主体

沖縄県(一般社団法人K u k u r uに委託)

3. 受講対象者

原則、沖縄県内に所在する特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホーム、グループホーム、障害児者施設等(医療施設を除く)、訪問介護事業所等において、利用者に対して喀痰吸引等の行為を行う必要のある介護福祉士、または介護福祉士以外の介護職員等であって、当該事業所・施設から推薦された者。

4. 受講資格

以下のいずれも満たす者とする。

(ア)「登録特定行為事業所」に所属している職員又は「登録特定行為事業所」の登録を受ける予定でありかつ「登録特定行為事業者」の登録基準を具備していると認められる事業所に所属している職員である事。

(イ)受講にあたっては実地研修実施体制の要件を満たすことができる事。

(ウ)講義・演習ともに全過程参加できる事。実地研修は、原則申込者の施設・事業所にて行い、令和9年2月28日までに修了出来る事。但し、自事業所以外で実習をする場合は実地研修実施機関承諾書が必要です。

(エ)講義をオンライン方式(オンデマンド方式)にて行うため、事業所にてwi-fi環境やパソコン・タブレットといったオンライン講義を受講できる環境を整えることができる事。環境を整えることが難しい方はご相談ください。

スマートフォンでの視聴はできません。

5. 募集定員

35名(本島・宮古・八重山含む)

・募集は、本島・宮古・八重山を含め、県内一斉の募集となります。

・受講申込者が受講定員を超えた場合には、利用者の喀痰吸引等の状況を勘案して選考します。1事業所の受け入れ定員は、制限される場合があります。

6. 研修スケジュール

申込締切日時		令和8年7月10日(金)
受講決定通知案内 (受講料案内)		令和8年7月14日(火)頃
受講料入金締め切り		令和8年7月24日(火)
資料発送予定		令和8年7月27日(月)頃
オン デ マ ン ド 視 聴		講義視聴期間
	第1回講義視聴期間 (7.5時間予定)	令和8年8月4日(火) ～令和8年8月10日(月)
	第2回講義視聴期間 (5.5時間予定)	令和8年8月11日(火) ～令和8年8月17日(月)
	第3回講義視聴期間 (6.5時間予定)	令和8年8月18日(火) ～令和8年8月24日(月)
	第4回講義視聴期間 (7.5時間予定)	令和8年8月25日(火) ～令和8年8月31日(月)
	第5回講義視聴期間 (6.5時間予定)	令和8年9月1日(火) ～令和8年9月7日(月)
	第6回講義視聴期間 (6.5時間予定)	令和8年9月8日(火) ～令和8年9月14日(月)
	第7回講義視聴期間 (4時間予定)	令和8年9月15日(火) ～令和8年9月21日(月)
演 習 会 場	救急法演習・ 筆記試験 基本演習 演習期間	令和8年9月28日(月)～令和8年11月17日(火)
		上記日程の土・日もしくは月・火のいずれか2日間の通学研修となります。(通学研修の日程については、後日のお知らせ)
職 場	実地研修	*実地研修に必要な書類の提出・確認がないと実地研修へは進めません。 実地研修開始の案内到着後～実地研修実施 <u>実地研修修了報告書 提出締切日：令和9年2月28日</u>

※沖縄県の委託事業受託期間中に修了することができない場合は、登録研修機関として一般社団法人 Kukururu で継続研修する事が可能です。県の委託事業でない為、別途受講料が発生します。

7. 受講料

¥25,000

テキスト代・損害保険料・衛生材料費が含まれます。

ただし、オンライン講義にかかる通信費ならびに医師の指示書作成料など実地研修に係る経費については、各施設・事業所の負担とします。

★研修開始一週間前までにキャンセルの申請があった場合を除き、いかなる理由であっても受講料は発生します。

8. 受講者の選考

*先着順ではなく、利用者の状況等を勘案し、沖縄県と協議し受講者を決定します。

*定員を超える応募があった場合、登録研修機関ではない法人（グループ法人も含む）の応募が優先となります。

Ⅱ 研修プログラム

1. 研修の実施方法

【講義（オンデマンド方式）】

オンデマンド方式の講義は全7回を予定。それぞれの回で配信期間が決まっています。

配信期間内に、講義視聴と課題の提出を行わなければ、次の回の講義には進めません。

講義の未視聴や課題の未提出が確認された時点で研修は終了となります。

配信期間外での講義視聴・課題提出はできません。

※研修プログラムの担当講師や講義進行については、変更することがあります。

※配信期間を過ぎてからの視聴はできません。

	講義科目	時間数	配信期間	会場
第1回	人間と社会・保険医療制度とチーム医療・安全な療養生活	7.5	6. 研修 スケジュール 参照	各自で パソコン または タブレット にて視聴
第2回	清潔保持と感染予防・健康状態の把握	5.5		
第3回	高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 ①	6.5		
第4回	高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 ②	7.5		
第5回	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ①	6.5		
第6回	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ②	6.5		
第7回	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説 ① 高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説 ①	10 (内4)		

※第7回の残り6時間は、基礎演習の時間に講義します。

【救急法演習・筆記試験・基本演習（通学形式）】

	講義科目	時間数	演習期間	会場
第8回	高齢者および障害児・者の 喀痰吸引実施手順解説 ②	3	*9月28日(月) ～11月17日(土)の 土・日もしくは月・火の いずれか2日間の通学 研修となります。 *宮古、八重山について は、日程上記期間とは 限りません。別途通知 します。	おきなわ医療的ケア 研修センター 宮古合同庁舎 八重山合同庁舎 *通学形式につい は、受講生事業所 の住所地で行いま す。
	高齢者および障害児・者の 経管栄養実施手順解説 ②	3		
	救急蘇生法演習	1		
	筆記試験	1		
第9回	喀痰吸引基本演習	4	*感染症の感染状況によ って、日程等の変更があ ることもあります。	
	経管栄養基本演習	4		

※通学研修の日程については、後日お知らせします。）

※2日間で終えられなかった場合は、後日別途行います。

※第1回～第7回の講義の視聴確認が、1回でも取れなかった場合は、演習へは進めず、その時点で研修は終了となります。

2. テキスト

「新版 介護職員によるたんの喀痰吸引・経管栄養研修テキスト」

：(社)全国訪問看護事業協会、中央法規出版

3. 基本演習(講義の第9回部分にあたります)

(1) 通学形式

(2) シミュレーターを用いて実施し、喀痰吸引等の提供を行うための技術の習得を図ることを目的とします。

(3) 演習指導講師の下、評価票を用いた評価を受け、5回以上行い、最後の1回が手順通りにできるようになるまで行います。

(4) 演習内容は以下の項目になります。

口腔内喀痰吸引	5回以上
鼻腔内喀痰吸引	5回以上
気管カニューレ内部の喀痰吸引	5回以上
胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養(滴下)	5回以上
胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養(半固形)	5回以上
経鼻経管栄養	5回以上
救急蘇生法	1回以上

(5) 以下の項目については、利用者がいる方のみ、別途基本演習を実施します。
対象利用者の有無については、申込書類をもって確認を行います。

口腔内喀痰吸引(非侵襲的人工呼吸器)	5回以上
鼻腔内喀痰吸引(非侵襲的人工呼吸器)	5回以上
気管カニューレ内部の喀痰吸引(侵襲的人工呼吸器)	5回以上
経鼻経管栄養(半固形)	5回以上

4. 実地研修

(1) 各事業所にて実施してください。

実地研修前までに、実地研修の実施体制が整っていることが必要なため、確認書類の提出があります。詳細は受講決定通知でお知らせします。(書類の確認ができていない場合、演習が終わったとしても実地研修へは進めません。)

※実地研修は「実地研修開始のお知らせ」が受講生フローに届いてから開始になります。

- (2) 各事業所に在籍している実地研修指導講師の下、実地研修協力者の協力に基づき技術の確認を行ってください。

実地研修指導看護師が不在の事業所については、指導者養成研修を受講してください。

- (3) 実地研修指導講師の下、評価票を用いた評価を受けます。

令和3年4月より、沖縄県では経管栄養の実地研修について、半固形に関する実地研修の変更がありました。経管栄養については、別紙資料もご確認ください。

口腔内喀痰吸引	10回以上
鼻腔内喀痰吸引	20回以上
気管カニューレ内部の喀痰吸引	20回以上
胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養(滴下のみ)	20回以上
胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養(半固形のみ)	20回以上
胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養(滴下・半固形両方)	各10回以上
経鼻経管栄養(滴下)	20回以上

※研修の選択により、実習する項目が異なります。

第1号研修：(喀痰吸引)口腔、鼻腔、気管カニューレ内

(経管栄養)胃ろう又は腸ろう(滴下)、経鼻経管(滴下)の5行為すべて

***半固形のみでは1号研修修了にはなりません。**

第2号研修：上記行為のうち任意の行為

- (4) 実地研修評価は以下の通りです。

- ・評価票の項目が全て「ア」で成功とみなす。
- ・規定の回数を行なった上で、**累積成功率が70%以上に達し、最終連続3回を成功**していれば終了。累積成功率が70%未満の場合、もしくは最終3回連続成功していない場合は、累積成功率が70%以上、最終連続3回を成功するまで続ける。

※累積成功率＝ $\text{成功回数} \div \text{総回数} \times 100$

- (5) その他

- ・「非侵襲的口腔内吸引」、「非侵襲的鼻腔内吸引」、「侵襲的気管カニューレ内吸引」、「経管栄養(半固形)」は、別過程となります。別過程の実地研修を予定している場合は、各行為において別途基本演習を行う必要があります。また、「非侵襲的口腔内吸引」、「非侵襲的鼻腔内吸引」、「侵襲的気管カニューレ内吸引」の実地研修については、それぞれの通常手順の実地研修が終了していることが前提となりますので、ご注意ください。

Ⅲ 筆記試験

筆記試験は、講義第8回(通学形式)時に実施予定です。

基本方針	研修受講者が喀痰吸引等を安全に実施するための知識を修得していることを確認する。
出題範囲	省令別表で定める範囲
出題形式	四肢択一式問題
出題数	50 問
試験時間	60 分
合否判定基準	正解率が 9 割以上で合格とする
再試験	正解率が 9 割に満たない場合は、再試験を実施(1 回のみ)

Ⅳ 受講申込方法

※専用サイトより申込みください。

必要書類は、アップロードが必要です。

申込受付締切： 令和8年7月10日(金)

(受講決定の可否は、7月14頃に担当者へ受講生フローよりお知らせ)

Ⅴ その他注意事項

- (1) 講義はオンライン(オンデマンド方式)+通学形式で行います。オンライン講義は、配信期間内に受講生が各自で講義を視聴してください。配信期間内に講義を視聴できなかった場合は、いかなる場合も次へは進めず、その時点で研修は終了となります。
- (2) オンデマンド視聴に伴い、wi-fi 等安定したインターネット環境とパソコンまたはタブレットが必要となります。環境が整わない方はご相談ください。**スマートフォンでの講義視聴はできません。**
- (3) おきなわ医療的ケア研修センター・沖縄県宮古合同庁舎・沖縄県八重山合同庁舎に入館の際は、手指消毒と検温にご協力ください。また、筆記試験・基本演習の際は、マスクの着用をお願いします。
- (4) 以下の場合、筆記試験・基本演習の受講をお控えください(後日、振替日程を調整します。)
 - ・ 2 日前から風邪症状がある場合
 - ・ 当日、37.5 度以上の発熱がある場合
- (5) 通学当日午前 6 時の段階で「暴風警報」各種「特別警報」のいずれかが発令された場合、講義を終日休講します。(大雨警報は対象外、大雨特別警報は対象)
 受講生が登校した後、警報が発令された場合は、状況によって判断し、必要であれば安全確認後帰宅して頂きます。
 本件により休講となった場合、後日改めて日程を設定し、振替講義を実施します。
- (6) 申込に記載された個人情報については、適正な管理を行い、本研修の運営以外の目的に使用する事はありません。

VI お申込みから研修修了までの流れ

